

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援所はる（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 1日		～ R6年 11月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	R6年 11月 5日		～ R6年 11月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的な支援を受けることができる。（言語聴覚士、作業療法士、心理士）	子ども、保護者のニーズに応じて検査、支援を行っている。	ニーズに応じて関係事業所から専門職を呼び、アセスメント等を行ってもらう。
2	丁寧な保護者支援を行っている。	関係事業所から心理職の職員に来てもらい、面談等を行っている。	事業所職員と心理職とが連携し、こどもの支援と保護者の支援をさらに充実させる。
3	こどもの特性や保護者のニーズに合わせた支援をしている。	支援に必要な知識や技術を身に付けるため、職員が外部の研修や講習に積極的に参加している。	今後も自己研鑽に努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもと活動する機会をあまり持っていないこと。	平日は放課後の時間になるため時間的に猶予がない。	長期休み際には地域の祭り等に参加はしている。その時の様子を積極的に保護者に伝えていく。
2	保護者会があることが周知できていないこと。	SNSで案内をしているが保護者会へ参加いただくことのメリットを周知できていない。	実施後の保護者の声をしっかり聞き取り、周知する。 SNS（インスタグラム等）があることをもっと呼びかける。
3	定期的に避難・救出・その他必要な訓練が行われていることを周知できていないこと。	訓練は行っているが、保護者への周知が足りていない。	SNS（インスタグラム等）で周知する。 SNS（インスタグラム等）があることを周知する。 直接、保護者にお伝えする。